

知財活用で自社製品を開発 中小企業に 知財の知識は必須！

アイシン電子工業株式会社

所在地	栃木県宇都宮市
設立年	1982年
業種	製造業
従業員数	57人
資本金	2,000万円
ホームページ URL	https://www.aishindenshi.com/



知財ポータル
窓口支援事例



製造業

関東

利用のきっかけ

- ★ 大学発のベンチャー企業と提携開発した除菌脱臭機について、産学官金連携支援により、開発技術及び特許の実施許諾を受け、さらに量産化が決定したことなどが新聞に取り上げられ、広く知られるようになり、INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者からアプローチがありました。

事業上の課題

- ★ 知財クリアランスの確保や意匠権の取得・活用、技術法規への適合等が必要であり、特許の実施許諾契約及び製造受託契約などを進める必要がありました。

INPIT 知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

- ① 除菌脱臭機の量産・販売に関して技術法規への対応支援
- ② 他社知財に対するクリアランスと知財（意匠）障壁の構築支援
- ③ 特許の実施許諾契約及び製造受託契約についての助言
- ④ コーポレートブランドの商標取得
- ⑤ 営業秘密管理規程の策定支援

活用した専門家

弁理士 弁護士
INPIT知財戦略アドバイザー

利用後の変化

当社は、光学製品を大手企業に提供することを主な事業にしてきましたが、初めて自社製品を製造・販売するにあたり、知財に関する知識やノウハウがなく、INPIT 知財総合支援窓口の支援を受けました。

意匠権の取得や事業運営全般に係わるアドバイスを頂き、今では安心して製品作りに取り組むことができます。新聞広告やテレビCMを行ったため「リポートエアー® シリーズ」は、広く知られるようになり、県内外の企業から「販売代理店になりたい」との引き合いが増えました。

また、知財を権利化したことによって、知財保護に対する意識も強くなりました。INPIT 知財総合支援窓口からアドバイスを頂き、秘密保持に関しての社内規程などを見直したところ、不足がありましたので、あらためて作り直しました。

ご利用を検討される事業者さまへ



知財は、企業がこれから一番注意していかなければならないものです。大企業の下請けであっても、消費が低迷し、生産が先細りするなかで、どうにかして生き残るために新たな価値、新たな自社製品を作っていかなければなりません。そういった時代が必ず来ると思います。その時に、企業側にノウハウがなければどうしようありません。そういう点からも知財に関するアドバイスを頂けるのはとても貴重です。

当社にとっては、特に意匠権に関するノウハウが大きかったのですが、他にも、多くの知識や情報を提供してくれて、協力してくれる団体や組織、専門家も紹介してくれるので、とても大きなメリットです。INPIT知財総合支援窓口は、これからの中小企業にとって“なくてはならない便利屋”だと思います。

アイシン電子工業株式会社 代表取締役 落合正樹様